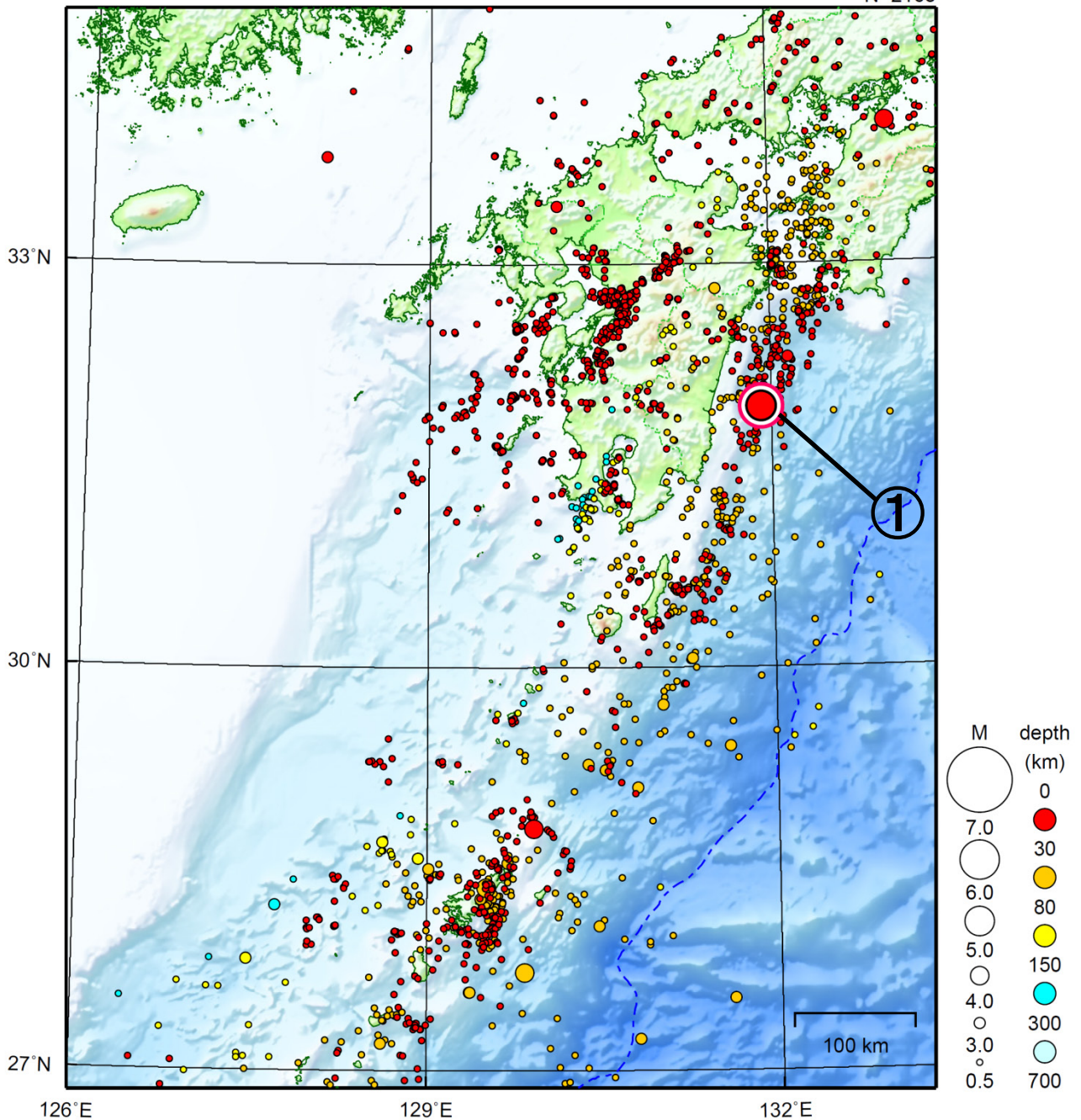


九州地方

2019/11/01 00:00 ~ 2019/11/30 24:00

N=2168



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

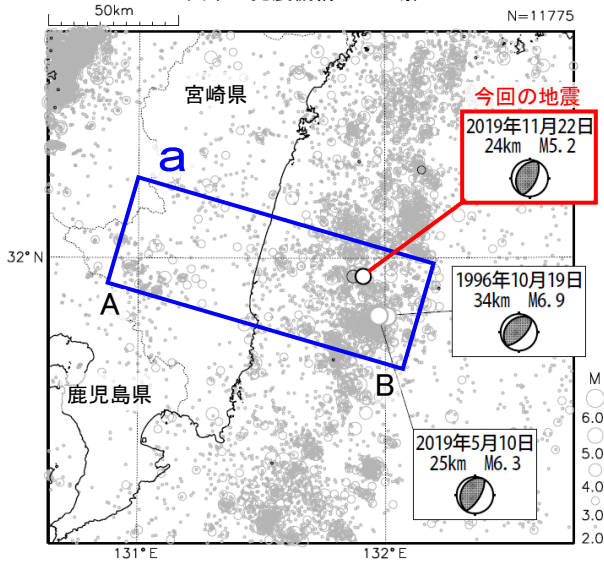
① 11月22日に日向灘でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。

〔上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

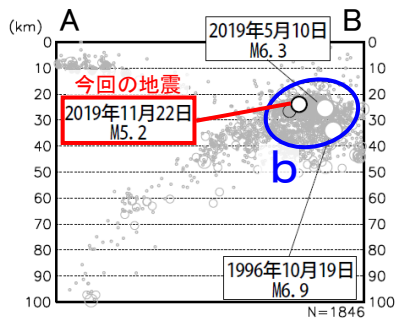
気象庁・文部科学省

11月22日 日向灘の地震

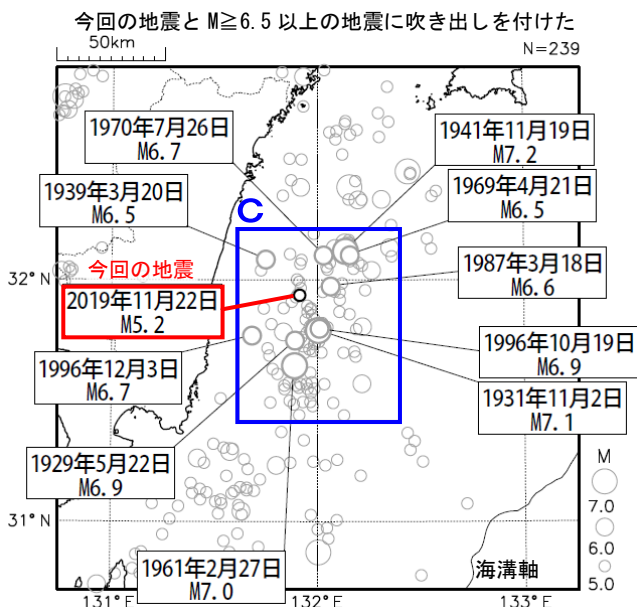
震央分布図
(1994年10月1日～2019年11月30日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2019年11月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1922年1月1日～2019年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
今回の地震と $M \geq 6.5$ 以上の地震に吹き出しを付けた

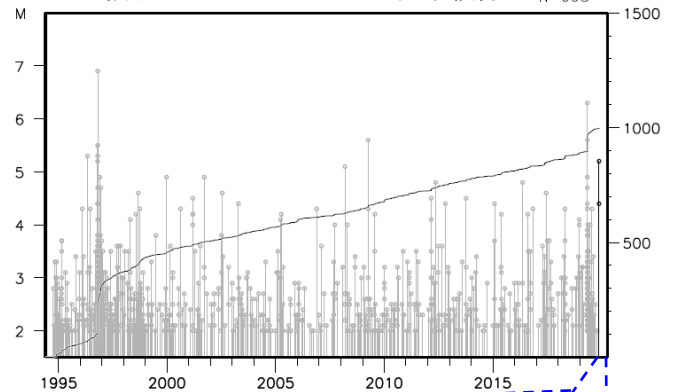


2019年11月22日18時05分に日向灘の深さ24kmで $M 5.2$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

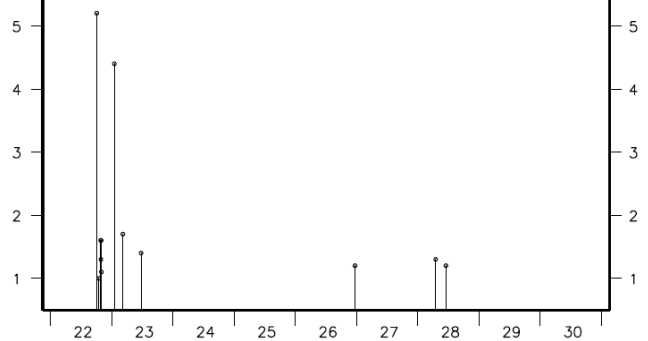
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では $M 5.0$ 以上の地震が時々発生しており、今年の5月10日にも $M 6.3$ の地震 (最大震度5弱) が発生している。また、1996年10月19日に発生した $M 6.9$ の地震 (最大震度5弱) では、高知県の室戸岬で最大27cm (最大全振幅) の津波を観測した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1941年11月19日に発生した $M 7.2$ の地震では、死者2人、負傷者18人などの被害が生じたほか、高知県の土佐清水で最大124cm (最大全振幅) の津波を観測した (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



(2019年11月22日～30日、 $M \geq 1.0$)



領域c内のM-T図

